

学 校 名	一宮市立大志小学校		
派 遣 日 時	令和5年12月20日(水)10時50分～12時30分(45分×2)		
対 象 者	児童(37名)・教諭(7名)	派遣時間	100分
外 部 講 師	一宮市民病院緩和ケア病棟部長 医師 草田 典子		
設 定 場 面	総合的な学習の時間		
テ ー マ	がんについて正しく学び、自分や大切な人のためにできることを考えよう		
ね ら い	がんについて学ぶことを通して、現在の自分の生活習慣と将来の健康について考え、がん患者の思いを理解し、自分や家族の健康、命の大切さについて考える。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <p>事前の準備では、がん教育についての資料(「がん教育推進のための教材」「小学校版 がん教育プログラム」「外部講師を活用したがん教育ガイドライン」)を参考にし、がん教育のねらいを明確にした。がんについて基礎知識や、生きること・命の大切さへの理解を深めるという視点から、がんを扱うことを通じて、疾病の予防や望ましい生活習慣の確立を含めた健康教育の充実を図った。また、授業を実施することについて学年だよりやほけんだよりに記載し、全校の児童、保護者に周知した。</p> <p>外部講師との事前の打ち合わせには、校長、教務主任、学級担任、養護教諭が同席し、授業の実施方法や授業の流れについての確認をした。講師の方に授業で話す内容を送っていただき、児童の発達段階を考慮して分かりやすい言葉づかいや内容となるよう検討した。</p> <p>【当日の概要】</p> <p>授業は1クラス45分間で実施し、講師の方と学級担任で行った。導入では、学級担任が児童とがんについてのイメージを共有した後、展開①では、映像教材(「がん教育推進のための補助教材」がん博士の「がんについての基礎知識」)を視聴し、がんについての正しい知識を学んだ。展開②では、がん患者に対する理解を深めるため、講師の方が関わったがん経験者2名について、講師の方より話をしていただいた。まとめでは、学級担任が担当し、授業の感想をワークシートに記入させ、共有を図った。</p>		
	<p>【成果】</p> <p>事前・事後のアンケートを比較するとほとんどの項目で、がんの基礎知識に関する正答率やがんに対する意識が向上した。特に「がんは誰もがかかる可能性のある病気である」の項目では「授業前 正しい82.5%→授業後 正しい97.3%」、「たばこを吸わないとこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある」の項目では「授業前 正しい87.5%→授業後 正しい100%」、「早期発見すれば、がんは治りやすい」の項目では「授業前 正しい80.0%→授業後 正しい100%」、「日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康的な体づくりに取り組もうと思う」の項目では「授業前 そう思う65.0%、どちらかといえばそう思う32.5%、どちらかといえばそう思わない2.5%→授業後 そう思う97.3%、どちらかといえばそう思う2.7%」と大きく変化が見られた。また、授業の感想を記入したワークシートには、「お父さんとお母さんにがん検診を受けているか聞こうと思う」「身近な人が病気で苦しんでいたら、助けてあげようと思う」など、大切な人のために自分にできることを実践しようとする記述がみられた。がん教育を通して多くの児童が「がん」についての理解を深め、健康と命の大切さに気付くとともに、自己の生き方を考えるきっかけになったと考える。さらに、緩和ケアや治療について、初めて知る児童もおり、新しい知識を学習できたと感じる。</p>		

成果・感想

【今後の取組予定】

今回の対象が5年生だったため、6年生で取り扱う保健「病気の予防」についてを学習する際にも、がんについての学習を深める予定。

【感想(ワークシート)・写真等】(原文の通り)

<Aさん>私は草田先生の話聞いて、がん「こわい」という思いはまだあるけれど、「すごいな」と思うようにもなりました。がんが見つかって亡くなってしまう方は、世の中にたくさんいて、悲しくてこわくて。でも、がん経験者のAさんのように治りょう法をきちんと考えて、最後は家族に自分の思いを伝えていました。がんときちんと向き合っていました。そんな人がいるからこそ、がんはこわいけれどすごい。きちんと向き合えて、解決方法があるおかげで立ち向かえる。そんな病気と知りました。

<Bさん>私は、がんを予防することができるし、がんの人を元気づけることができると学びました。また、がんは早く病院に行き、治りょうしてもらうことが大切だと分かりました。がんを予防するためには、栄養バランスを考えて、食事することや、たばこを吸わないこと、お酒の飲みすぎに気をつけること、生活習慣を整えることなどいろいろな方法があることを知りました。がんの人を元気づけるためには、おみまいに行って、話すことが大切だと分かりました。今日学んだことを家族や周りの人に広めていくことはとても大事だと感じました。

【授業の様子】



学 校 名	扶桑町立山名小学校		
派 遣 日 時	令和 5年 11月 22日(水) 13時 55分 ~ 14時 40分		
対 象 者	児童(49名)・教諭(5名)	派遣時間	45分
外 部 講 師	NPO法人ミーネット ピアサポーター 廣田 圭		
設 定 場 面	学級活動		
テ ー マ	「がん」を通して、いのちの大切さについて考えよう		
ね ら い	がん患者によるがんを経験したことによる生きることへの思いを通して、命の大切さについて考える。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】 講師とのメールでの打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演内容(がんを経験したことによって「生きる」ことへの考え方の変化)の依頼 ・ 当日のタイムスケジュールについての確認 ・ 学校での準備物の確認(パソコン・プロジェクター・スクリーン・マイク) <p>【当日の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開会の言葉 ・ 学校長の話・講師紹介 ・ 講演(30分) ・ 質疑応答(5分) ・ 児童お礼の言葉 ・ 閉会の言葉 		
成 果 ・ 感 想	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がんは早期発見すれば9割が治る病気のため、日頃から健康によい生活習慣を心がけ、がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようという意識を高めることができた。 <p>(アンケート結果 2)(オ)、3)(ウ)(エ)より)</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 来年度の5年生の「いのちの学習」でもがん教育を通して、命の大切さを考える取組を行い、継続していく。</p> <p>【感想・写真等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に生活していてもがんになることはあるので、がんを知っておくことは大切だということが分かった。 ・ 支えてくれる人がいるとうれしい。苦しい思いをしている人がいたら、安心する声かけをしたい。 ・ 一日一日を大切に感謝して過ごしたい。 		

学 校 名	大府市立神田小学校		
派 遣 日 時	令和5年11月10日(金) 13時55分～14時40分		
対 象 者	小学4・5・6年生(198名)・保護者(7名)・教諭(10名)	派遣時間	45分
外 部 講 師	藤田医科大学病院 看護主任 田浦 幸		
設 定 場 面	学校保健委員会		
テ ー マ	がんについて知り、今自分ができようことを考えよう		
ね ら い	がんについて正しい知識を得て、予防のため良い生活習慣の大切さを理解し、意欲を高める。また、今の自分にできることや生きる尊さについて考える。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】 打ち合わせはメールで行い、事前にアンケート結果や児童の質問内容を伝え、講演内容に入れてもらうようにした。当日は、パワーポイントのデータが入ったUSBを持参してもらった。</p> <p>【当日の概要】 学校保健委員会ということで、保健委員会の児童が司会を務めた。校長挨拶と講師紹介の後、35分程度を講演時間とした。講演後、児童は教室で感想を記入した。</p> <p><講演内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんは死亡率が一番であり、誰でもかかりうる病気であること ・かかるリスクを減らすために日頃から体に良い生活習慣で過ごすこと ・早期発見や早期治療の大切さや、具体的な治療法について ・がんになった人の気持ちを理解し、寄り添うことの大切さと命の尊さについて 		
成 果・課 題	<p>【成果】 がん教育の実施前と実施後のアンケートの変化 「そう思う」の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ①がんの学習は健康な生活を送るために重要だ。64.1% → 84.2% ②がんの学習が、健康な生活を送るために役立つ。63.6% → 82.7% ③日頃からバランスの良い食事や適度な運動に取り組もうと思う。61.0% → 82.7% <p>・今回の学習が健康な生活への意識向上に役立ったと思われるアンケートの数値となった。 ・その他の項目に関しても、数値が上回っており、がんについての理解や今後の生活について見直すきっかけとなっている。</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会報告を保健だよりで行い、保健室前にも掲示する。 ・3学期に1週間の生活リズムカード(就寝・起床時間・朝ごはん・運動等)を実施する。 ・1月の体重測定前に、食生活や運動についての保健指導を行う。 <p>なお、現在、年間計画に合わせ、各学年ごとに栄養教諭が食育の授業を行っており、塩分を減らす方法として、出汁を実際に飲み、出汁を利用して塩分を減らす工夫を教えている。運動面では、かけ足運動を11月から全校で大放課に行ったり、3学期になわとび集会で大縄が続けて飛べるように練習をしたりと楽しみながら運動習慣の育成に取り組んでいる。</p> <p>【感想・写真等】</p> <p>児童の感想から、講演内容が児童の心にしっかりと響いたことが分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんが2人に1人かかる病気と聞き、大変身近なものだと分かり、びっくりした。 ・食生活やこまめな運動、睡眠などに心がけ、規則正しい生活をしていきたい。自分の生活を変えるだけでがんが予防できることが分かった。 ・今までは体のことはあまり気にしたことがなかったけれど、これからは体のために健康でいられるための生活を続けていこうと思う。 ・早期発見・早期治療が大切なことが分かった。 ・今は薬や治療の種類が増えて、がんになっても仕事しながら治療するなど安心できるようにはなってきたけれど、まずはならないように心がけたいと思う。 ・がんになったらすごく不安だし、こわい。もし自分の周りにがんの人がいたら、気持ちを考え寄り添ってあげられたらいいと思う。 ・今日学んだことを家族にも話してみようと思う。たばこを吸っている家族にも「大切な家族だからやめて」と伝えたい。 		

学 校 名	武豊町立緑丘小学校		
派 遣 日 時	令和 6 年 1 月 12 日(金) 14 時 45 分 ~15 時 30 分		
対 象 者	6年児童(103名)・保護者(1名)・教諭(6名)	派遣時間	45分
外 部 講 師	愛知県がんセンター がん情報・対策研究分野 分野長 伊藤 秀美 若年がんサバイバー&ケアギバー 集いの場 くまの間 代表 加藤 那津		
設 定 場 面	学校保健委員会		
テ ー マ	がんについて考えよう		
ね ら い	がんは誰にでも起こりうる病気だと捉え、予防のために大切なことを知り、今後の生き方やがんとの向き合い方を考え、命の大切さを見つめる。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <p>12/25(月)10:00~オンラインにて事前打ち合わせ(伊藤医師・加藤氏・養護教諭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント資料、事前アンケートの結果、準備する用具、会場準備、来校方法と到着時刻を確認 ・資料はメールでやり取りし、当日の資料も事前に受け取り、学校がPC等の機器を準備 <p>【当日の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講師紹介、学習のねらいの確認、講演内容を負担に感じたときの対応指示(養護教諭 3分) ○がんについての正しい知識を得る(講師 伊藤医師 22分) がんの基礎知識、予防のための生活習慣、検診の大切さ ○がん経験者の経験や思いを知る(講師 加藤氏 15分) がん患者への理解 ○ふりかえりやまとめ(養護教諭と児童代表 5分) 6年生代表の意見発表(各クラス1名 計3名) 		
成 果 ・ 感 想	<p>【成果】</p> <p>事前・事後のアンケート結果の変化をみると、各項目で理解が深まっている結果となった。(アンケート結果は添付資料を参照)</p> <p>「がんの学習は健康な生活を送るために役に立つ」 そう思う 事前68.1% → 事後80.9%</p> <p>「がんは誰もがかかる可能性のある病気である」 そう思う 事前91.2% → 事後98.9%</p> <p>「早期発見すれば、がんはなおりやすい」 そう思う 事前90.1% → 事後98.9%</p> <p>「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」 そう思う 事前54.9% → 事後66.3%</p> <p>「がんになっても生活の質を高めることができる」 そう思う 事前16.5% → 事後40.4%</p> <p>「がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う」 そう思う 事前37.4% → 事後51.7%</p> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1月の身体測定での保健指導で、他学年児童に対して、「たばこや飲酒の害」「生活習慣の大切さ」「病気の早期発見と健康診断の必要性」を養護教諭が指導する。 ○講師の指導資料や当日の様子をまとめた「ほけんだより」を保護者に配付する。 <p>【参加児童の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がんはつらい病気だとはか思っていなかったけれど、努力をしたらどんどんよくなったり、治ったりするんだなと思いました。これからはがんにもっと興味をもって、身近に考えていきたいなと思います。とても勉強になりました。 ○私のがんになってしまうかもなんて考えたことがなかったけれど、がんについての話を聞いて身近に考えられるようになり、がんにならないように今のうちから予防しておこうと思います。 ○生活習慣がよいとがんを予防できると聞いて、生活習慣を見直そうと思いました。 ○タバコを吸わないようにして、バランスのいい食事や毎日の運動で健康に生活したいと思いました。 ○予防のために簡単なものから取り組んでいこうと思いました。 ○食塩をとりすぎていたかもしれないと思ったから、気をつけようと思いました。 ○定期的に検診を受け、健康を意識して生活していきたいと思いました。 ○がんの人にサポートをする話を聞いて、もし身近な人ががんになったときは私もサポートしたいなと思いました。 ○家族ががんになったら、精神面をケアします。 ○周りの人ががんになっても、何か助けることが出来る気がしました。 <p>【参加職員の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○専門家の方の話は特別感があって、普段の教室での学習より、よく話を聞いていました。 ○がん経験者の話を聞く機会は今までなかったので、心に響いた様子でした。 ○代表児童の発表はよくまとめられていた。児童の意見も聞けてよかったです。 		

学 校 名	みよし市立黒笹小学校		
派 遣 日 時	令和 6年 1月 11日(木) 13時 35分 ~ 14時 20分		
対 象 者	小学6年生(66名)・保護者(3名)・教諭(7名)	派遣時間	45分
外 部 講 師	トヨタ記念病院 腫瘍内科 医師 大田亜希子		
設 定 場 面	学校保健委員会		
テ ー マ	が ん を 知 ろ う ! ~ が ん の 知 識 と 命 の 大 切 さ ~		
ね ら い	○がんに身近な問題としてとらえ、がんの予防・早期発見の必要性などについて、興味・関心をもつとともに、がんに関する正しい知識を身につける。 ○いのちの大切さについて考える。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <p>○担当者に電話連絡した後、具体的な打合せはメールで行う。打合せ内容は、日時、参加者、場面設定、会場、学校で準備する備品、講話の内容、当日の交通手段について。学校で準備したものは、マイク、プロジェクター、スクリーン、パソコン。児童への配付資料はなし。</p> <p>【当日の概要】</p> <p>○講師の方は車で来校。来校後、持参されたUSB(データ)で動作確認。文部科学省の「がん教育推進のための教材」をもとに30分程度講話していただいた。</p>		
成 果 ・ 感 想	<p>【成果】</p> <p>○事後アンケートでは、すべての項目において、がんについて正しく理解し、意識の高まりが見られる結果となった。中でも大きな変容のあった項目は、「がんの学習は健康な生活を送るために重要だ」72.9%→92.4%、「がんの学習は健康な生活を送るために役に立つ」65.7%→89.4%、「日頃からバランスのよい食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う」55.7%→71.2%、「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」47.1%→66.6%。</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○保健体育の授業でがんを取り扱う際、文部科学省作成「がん教育推進のための教材」を参考にして指導に当たりたい。</p> <p>○今回のように外部講師の方をお招きし、専門的なお話をしていただく機会があれば、家庭に周知し、配慮が必要な児童、家庭を把握した上で実施したい。</p> <p>【感想・写真等】</p> <p>○児童の感想より「がんは誰でもなる可能性があることや、検診、日々の生活習慣で予防できることが分かった」「がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けたいと思う」「身近にがんの人がいたらサポートしてあげたい」「がんについて知ることができてよかった」「今日の話を家族にも教えてあげたい」等、がんについてよく分かった、がんは誰でもなる可能性がある、早期発見が重要(大人になったら検診を受けたい)、生活習慣に気をつけて生活したい、家族にも検診を勧めたいという記述が多数。</p> <p>○保護者の感想として、「がん手術の経験あり。当時より緩和ケアが進んでいることに安心した。周囲にも早期発見の大切さを伝えていきたい」「検診の大切さを改めて感じた。年1回の検診をこれからも続けたいと思った」との記述が見られた。</p>		
	 		